

人形の誓いと 魔女の過去②



徐々に明かされる彼女の世界
それは、裏切りと悲しみに満ちたものだった
レミリアから他人の心に干渉できるマジックアイテム
『追憶の書』を受け取ったアリスは
パチュリーの深層世界に隠された真実を探すべく
彼女の心へと干渉を試みるのだが――

明かされる真実――



隠された真実――

- 東方Project Fan Book -
Vol. VI

・収録作品

Scene3

- 隠された記憶 - 005
メモリー

Scene4

- Locked Girl - 037
ラクトガール

パチュリー様っ!!

パチュリー様っ!!
しつかりなさって下さい

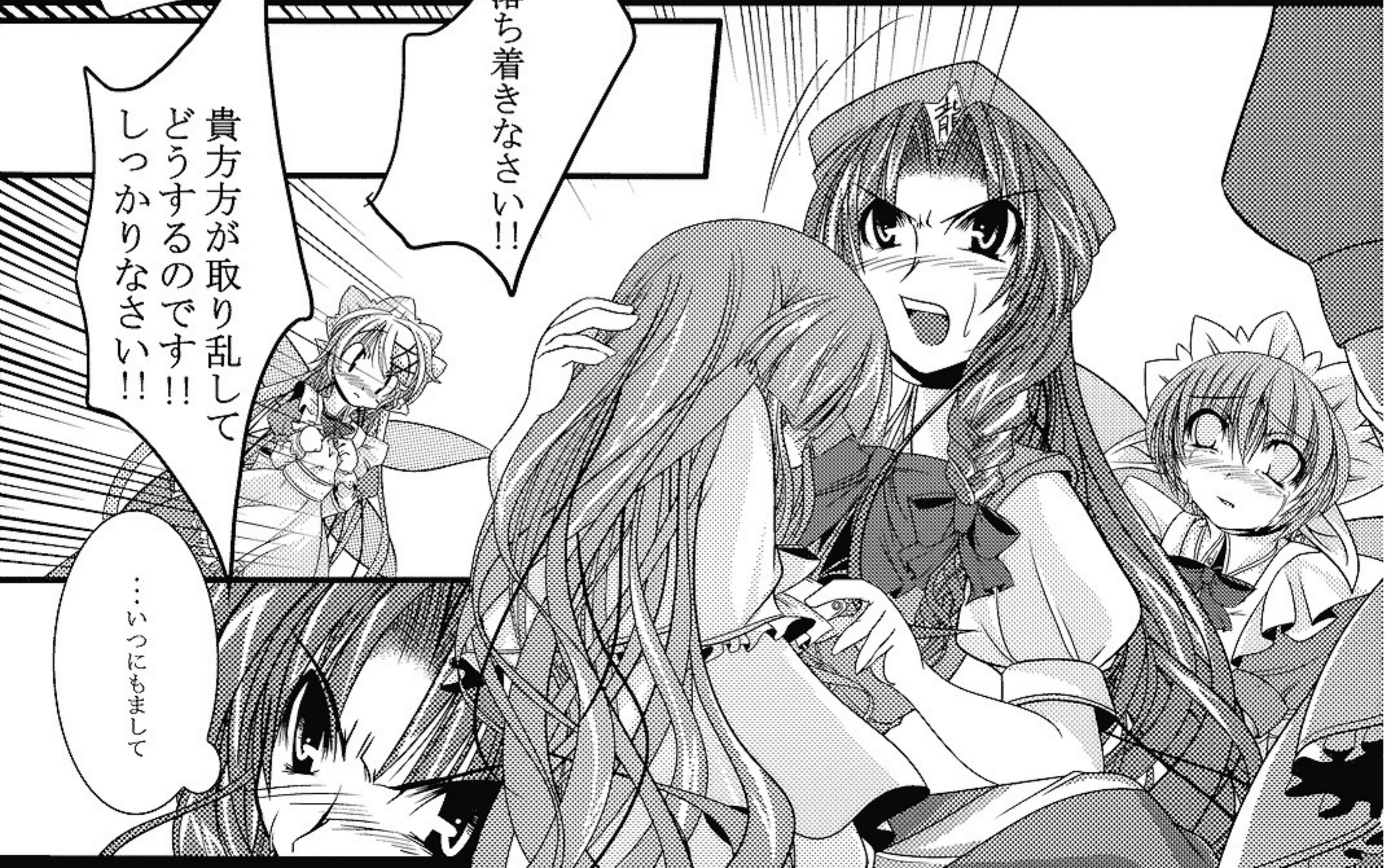
ああ...
なんて事...

パチュリー様...

落ち着きなさい!!

貴方方が取り乱して
どうするのです!!
しつかりなさい!!

.....





体力の消耗が
激しすぎる…

このままだと…

006

一刻も早くこの事を
メイド長とお嬢様に!!



手の空いている方は
私を手伝ってください!!

時間がありません…



急いでっ!!



た……
助ける……

ちよつと待つてよ
話が全然読めないの
だけど……

一体どう言う事？

何が何だか……

……
実は……



お嬢様……

お嬢様あ！！



どうしたの？
そんなに驚いて……

パチュリー様が……

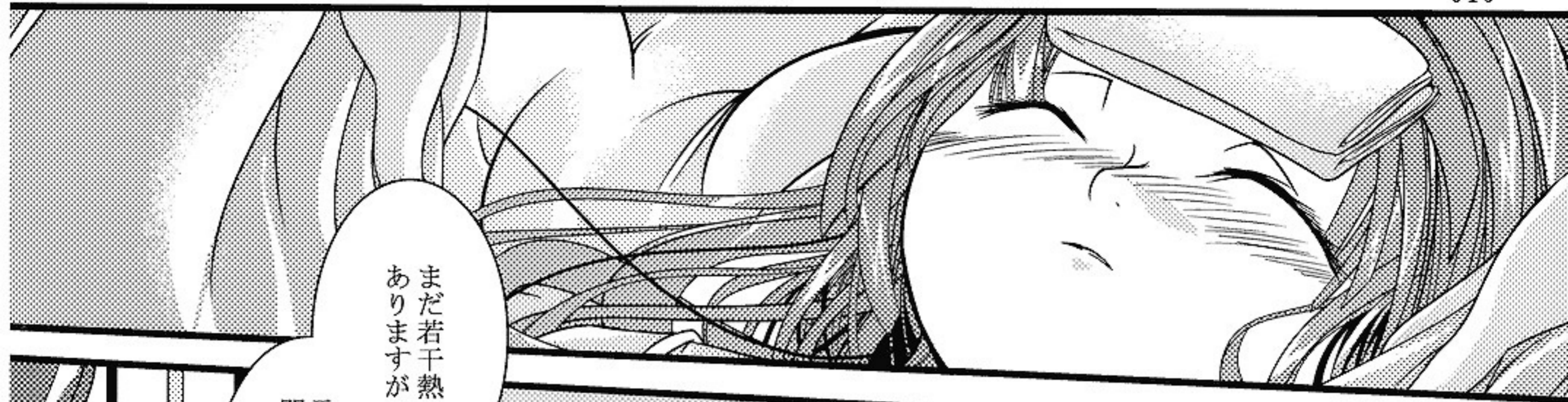
パチュリー様が……！！

東方ProjectFanbook -Vol. VI-

人形の誓いと 魔女の過去②

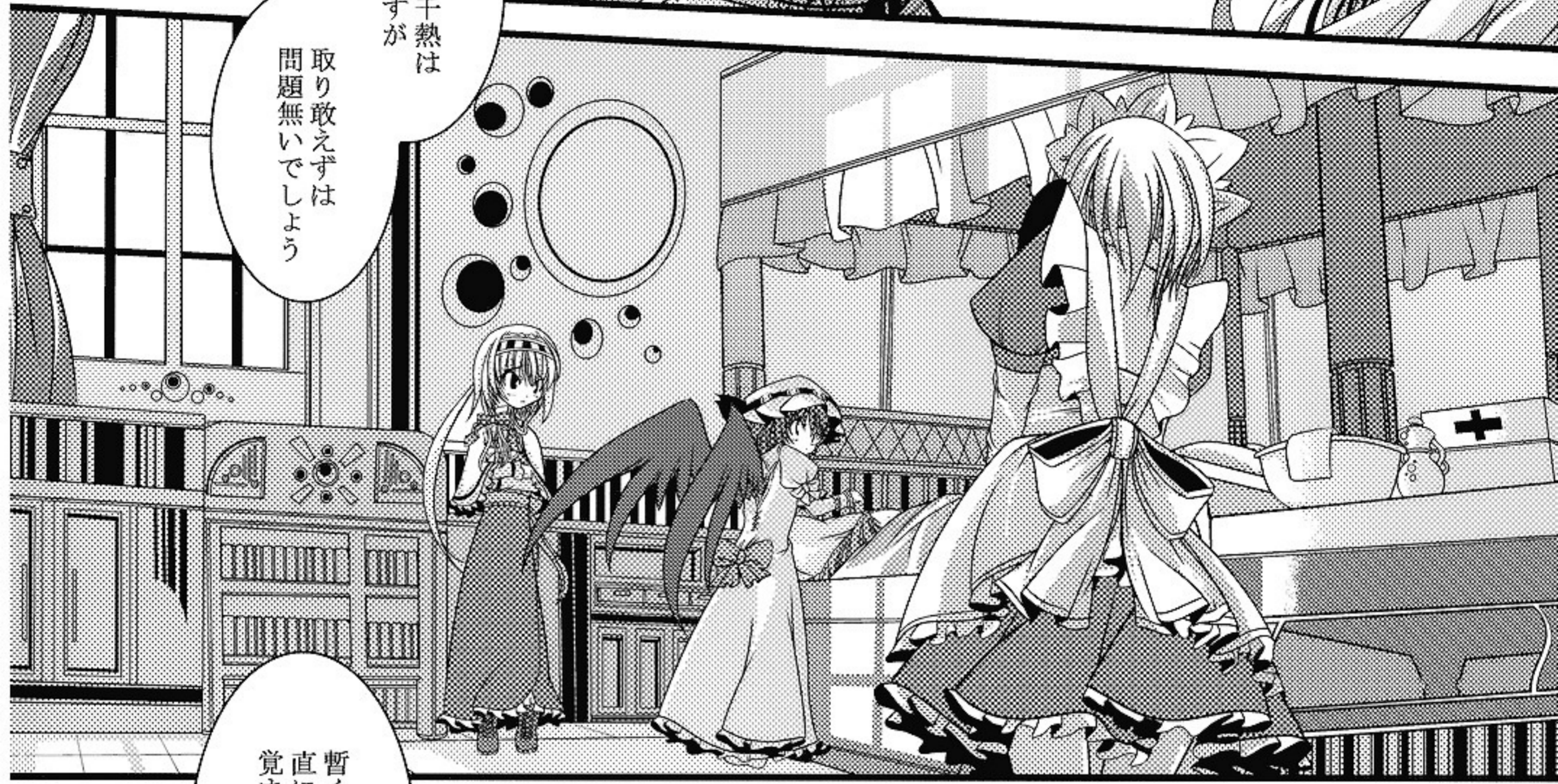
Scene3

メモリー
- 隠された記憶 -



まだ若干熱は
ありますが

取り敢えずは
問題無いでしょう



暫くすれば
直にお目も
覚まされますよ

よかった…



これも貴方達の対応が
早かったからね

ありがとう

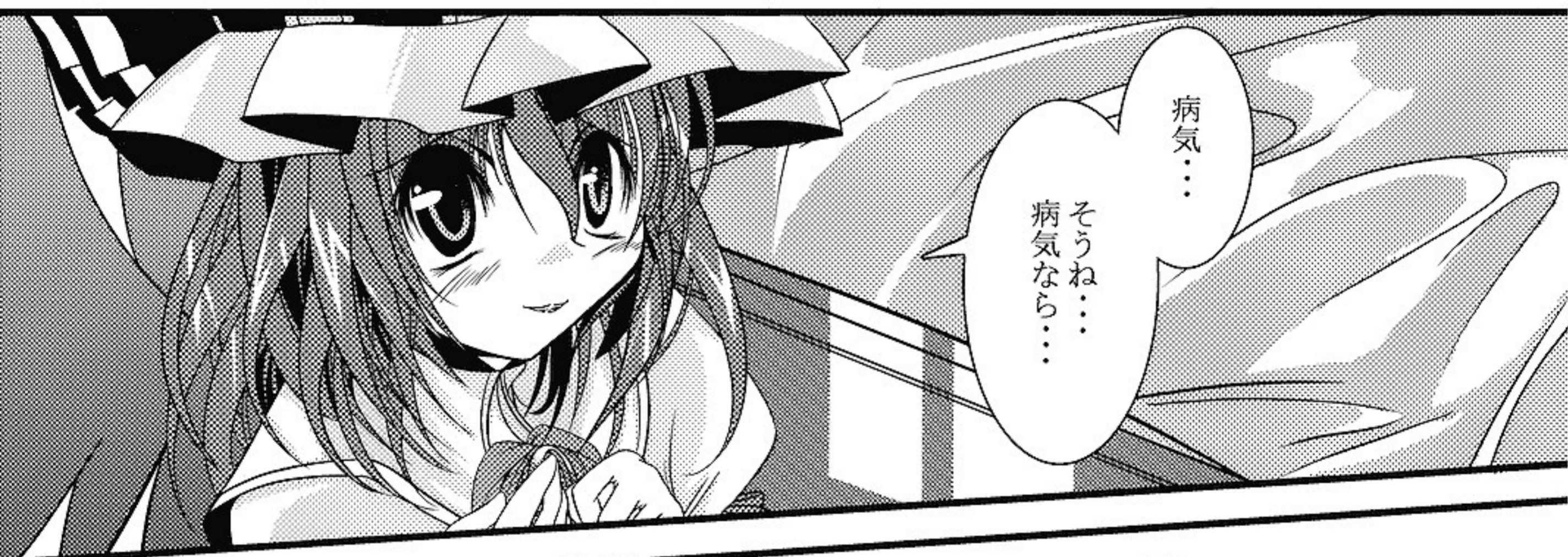
い…いえっ!!
私達は何も…

ねえ…

血を吐いて
倒れてたって…



パチユリ
どんな病気に
掛かっているの？



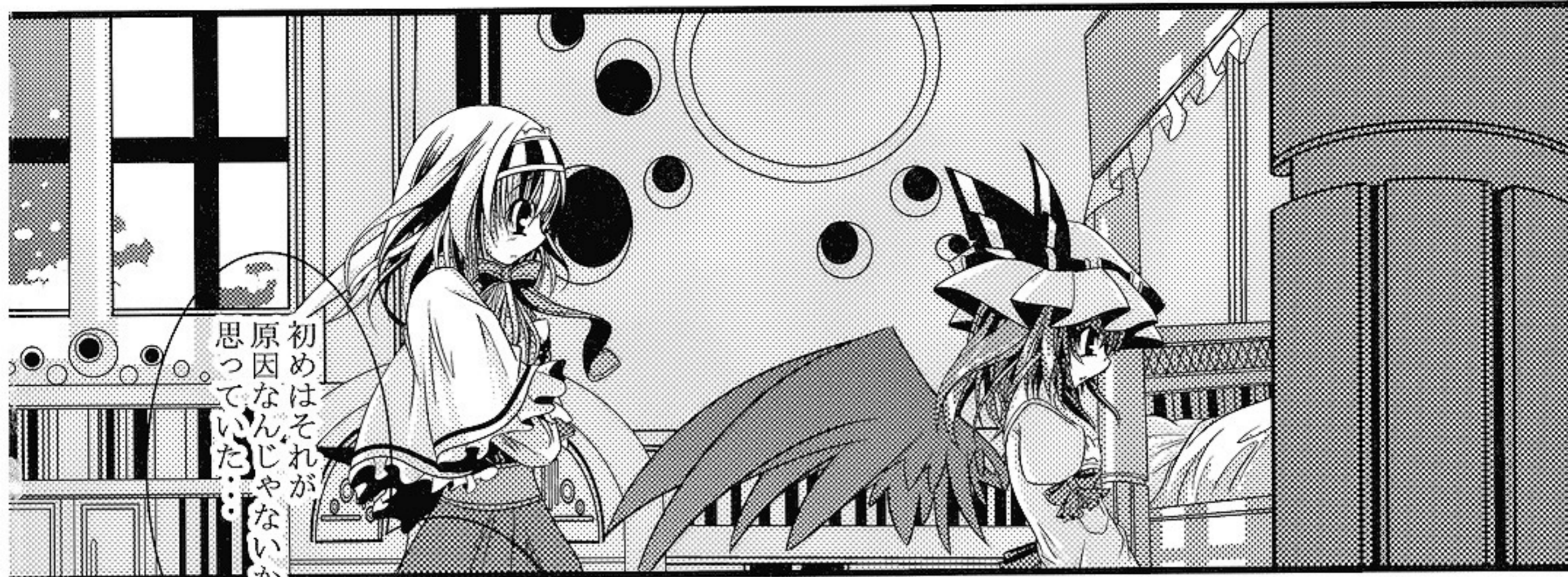
病気…
そうね…
病気なら…



ただの病気なら

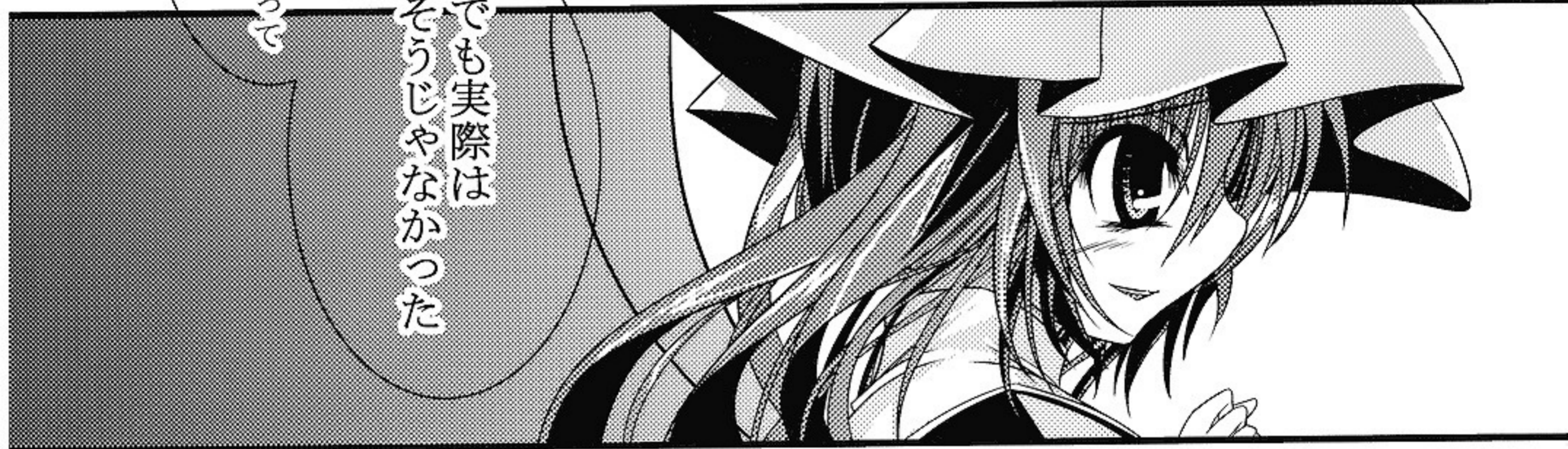


…
この子は喘息を
患っていてね
どれ程良かった
ものかしらね…



初めはそれが原因なんじゃないかって思っていた……

でも実際はそうじゃなかった

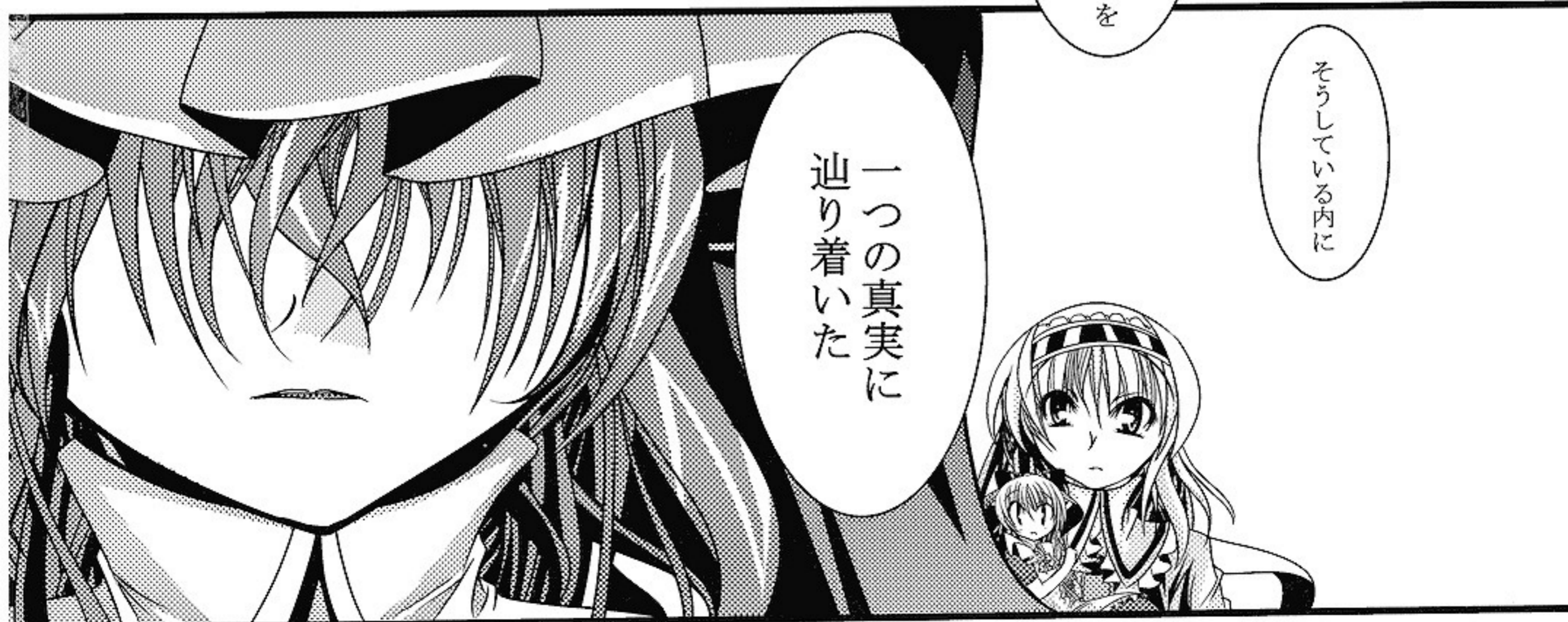


この原因の根源となる過去を探り出した

私はこの子の心に潜り

そうしている内に

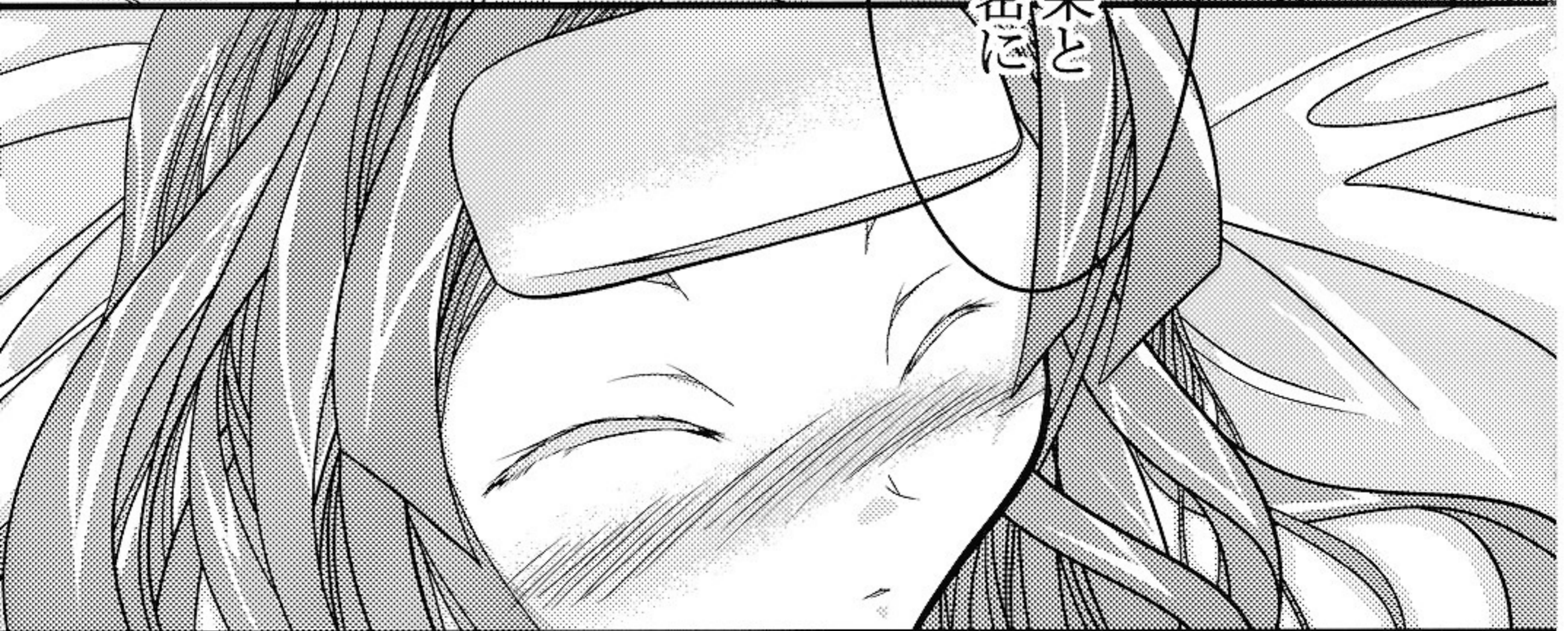
一つの真実に辿り着いた





この子の身を纏う

過去の因果と
病魔の秘密に





過去の…

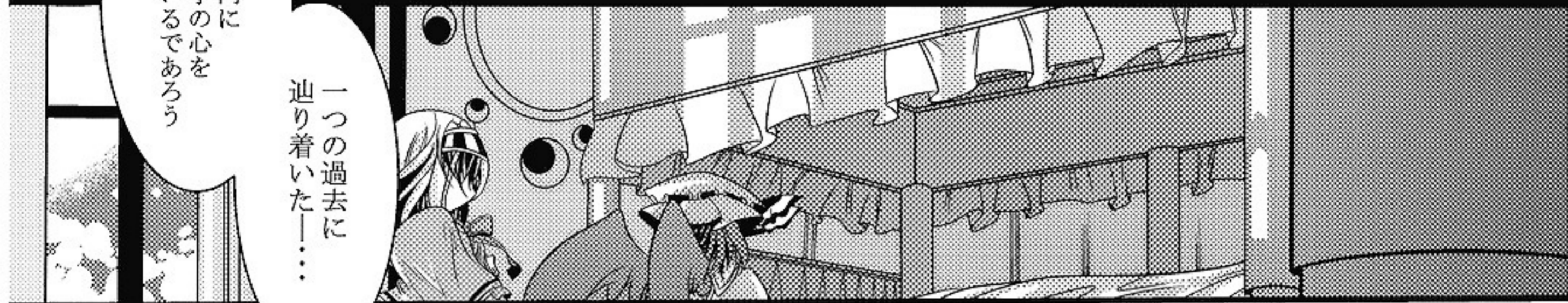
因果…？

過去を視る事はね
そう難しい事じゃないの

例えるなら引き算…
2から1を引く様に
過去を遡るだけ

そうする内に
私はこの子の心を
形成しているであろう

一つの過去に
辿り着いた…



…

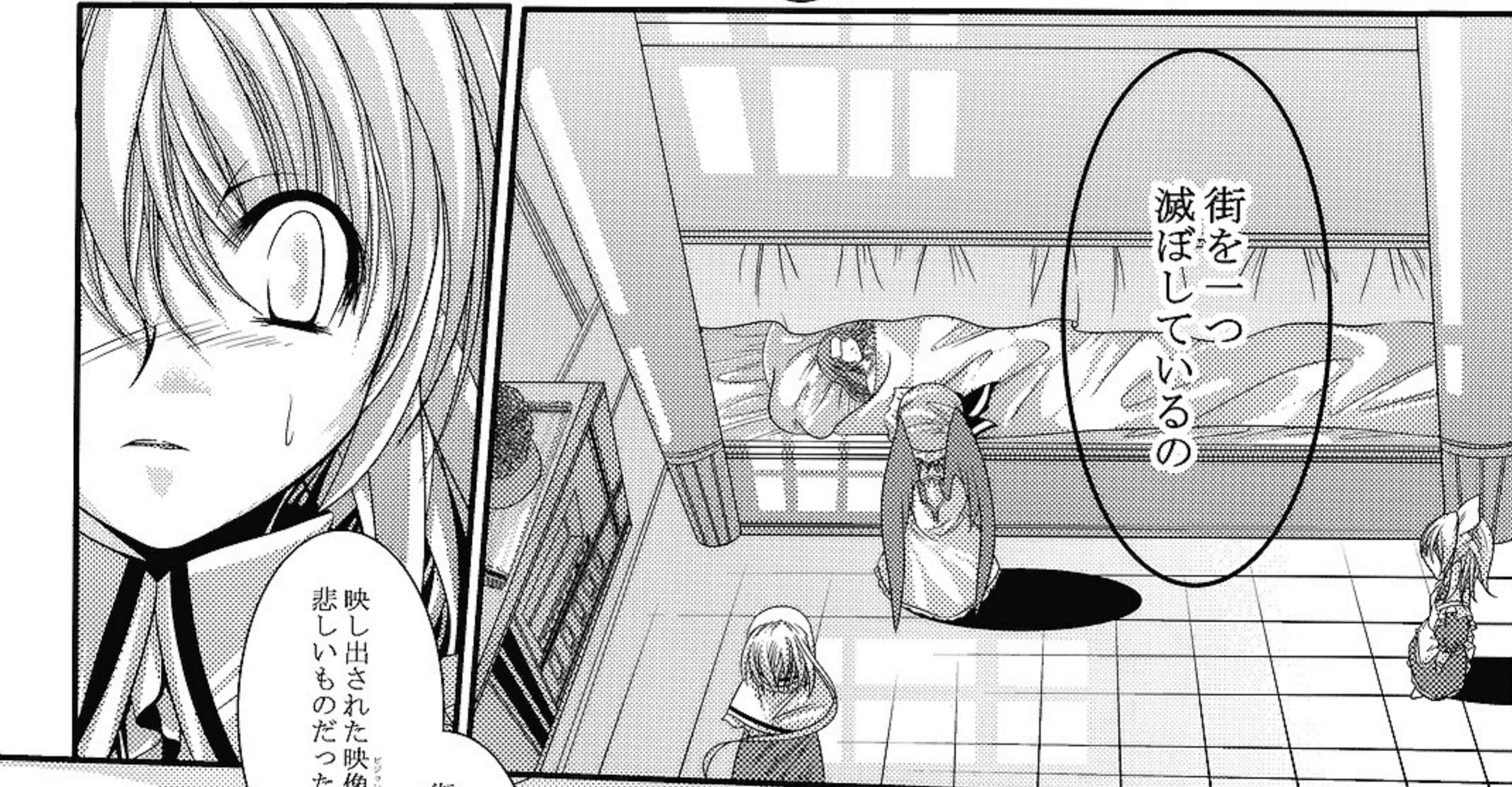
一体…

何を視たの？





この子は
過去に



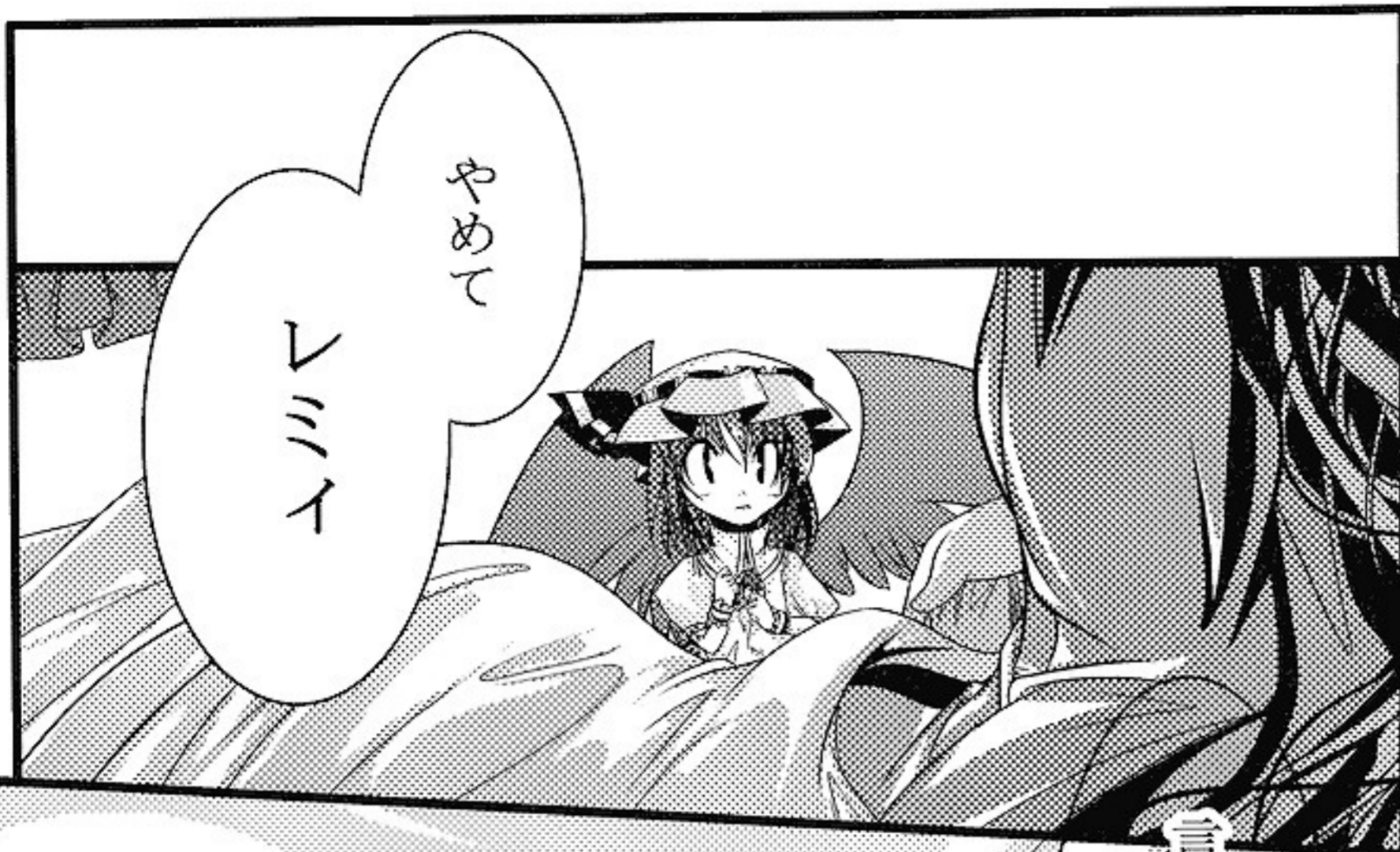
街を一つ
滅ぼしているの



多くの者が
死に逝き



辺り一面
夕日に照らされた様に
真っ赤な世界が広がっていた



やめて
レミィ



中でも一番
悲しかったのが...



言ったはずよね

余計な事はするなつて

どうして
あなたはそう...



ごめん...
なさい...



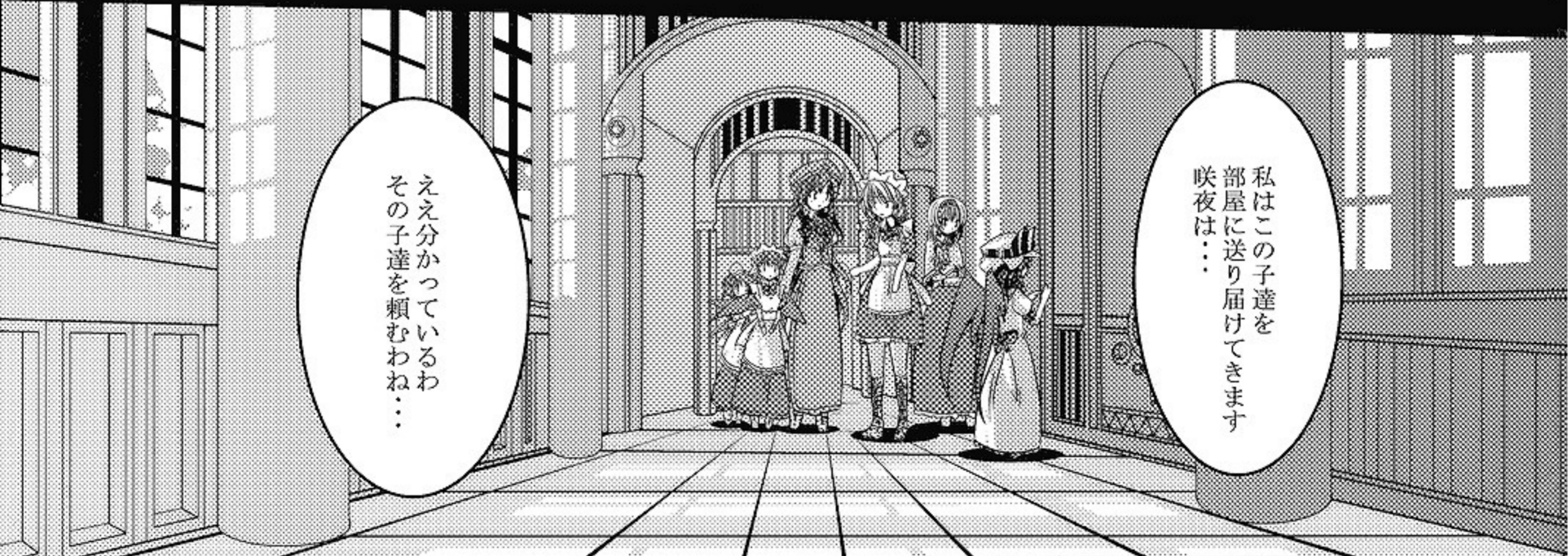
人の嫌がる事を
平然とするの？





出っっっ

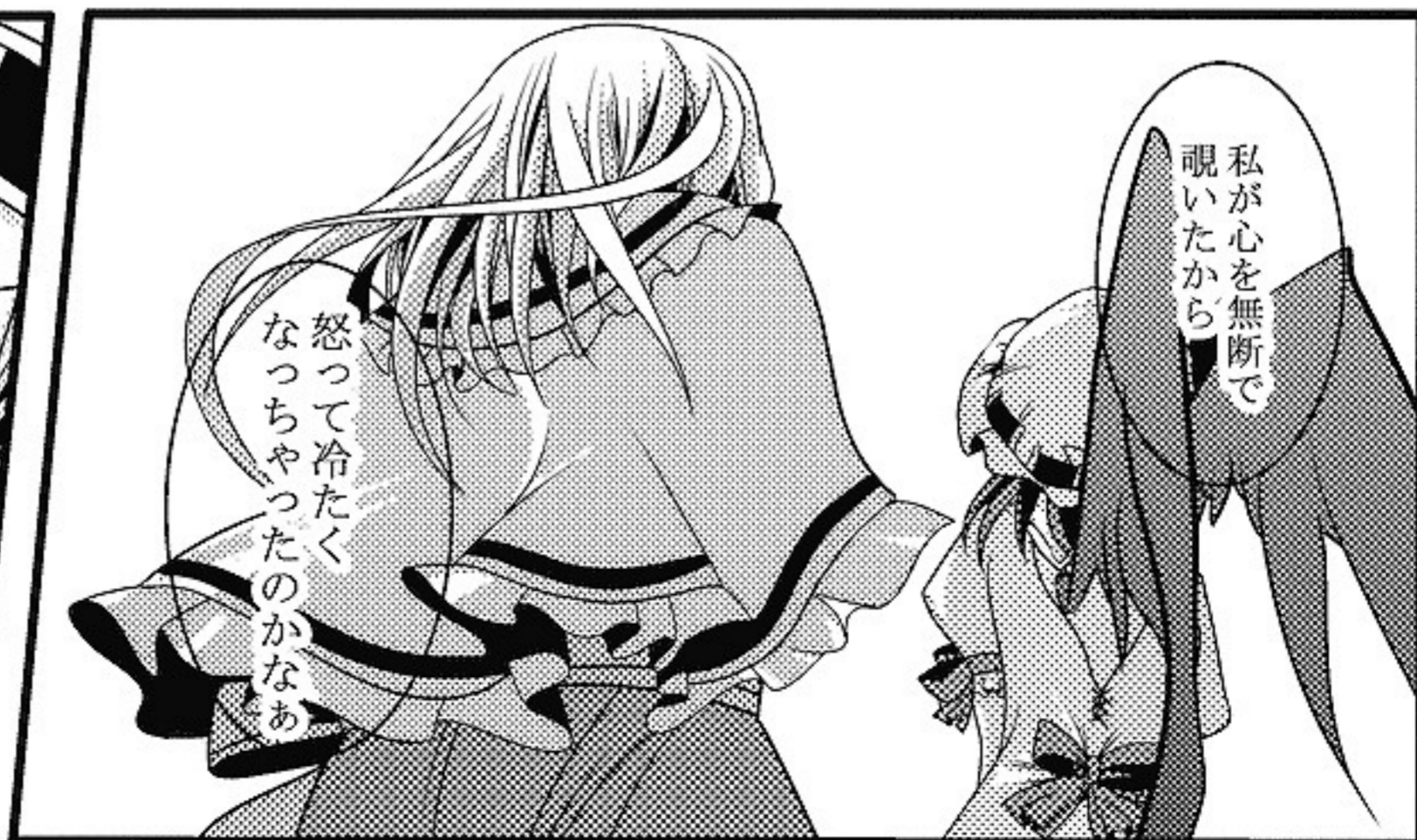
二度と構わないで



私はこの子達を
部屋に送り届けてきます
咲夜は……

ええ分かってるわ
その子達を頼むわね……







レミリア



教えて



何があつたの？



レミリア



あなたが
言った……
助けてと言う
言葉が……



あなたの本心から
来るものならば
隠さず全てを
教えてちょうだい



……

場所を
変えましょう



ここは……？

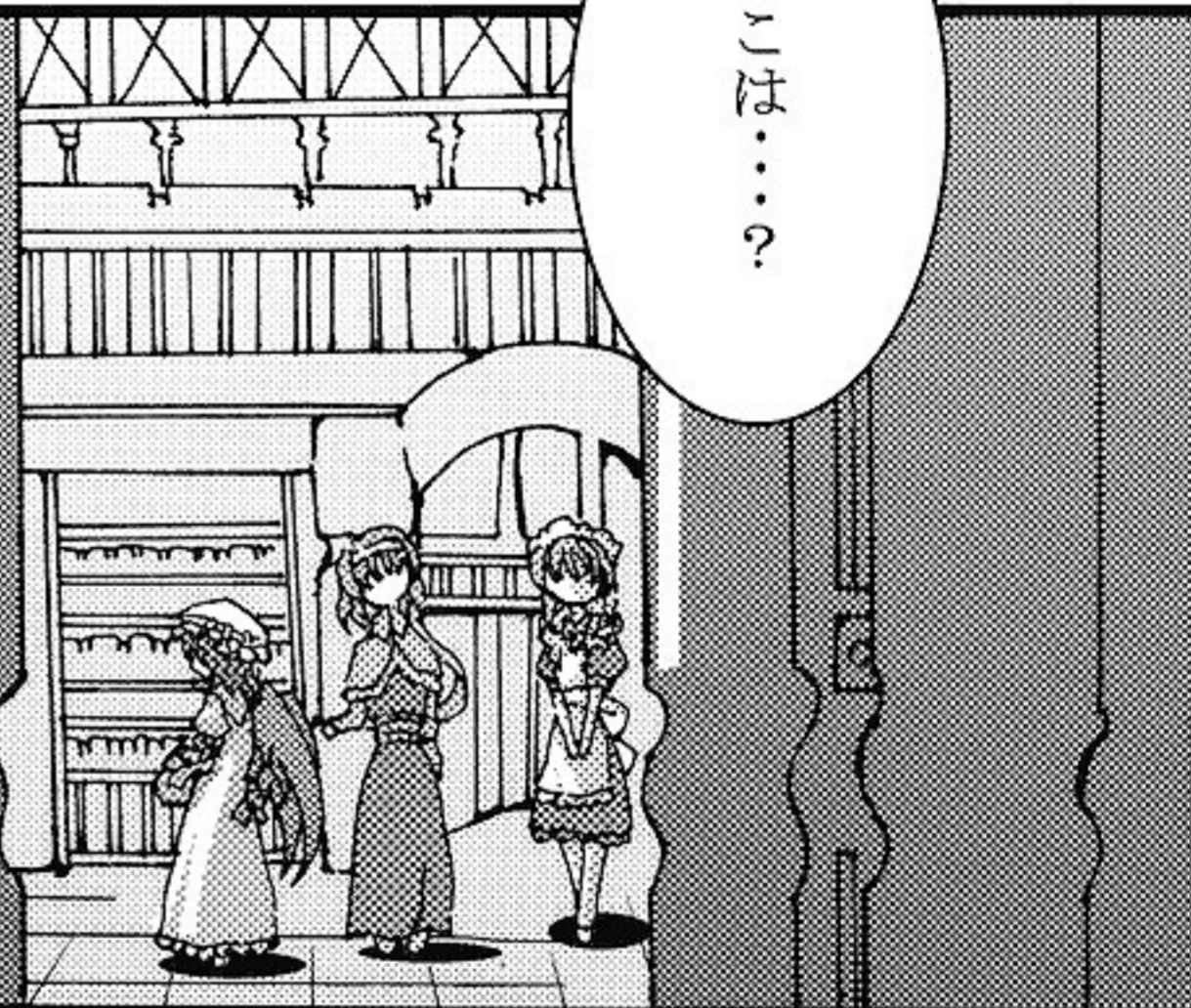


まあそう言う
ヤバイ本を納めている
場所よ



地下の大図書館に
納められなかった本

禁呪法とか
邪術とか



咲夜
アレを……



ふふっ
魔力に飲まれない様
気をつけてね



どろりて凄まじい魔力を
感じるわけだわ……



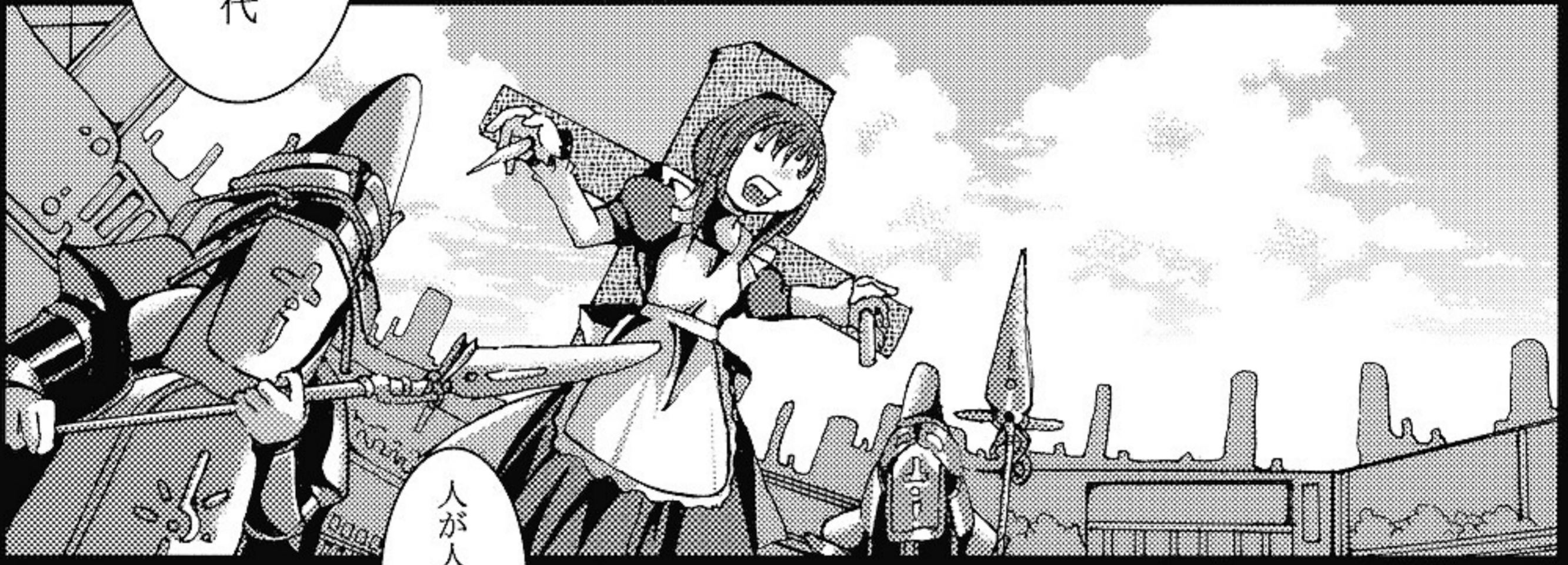


貴方も聞いた事は
あるでしょうか？

十五世紀のヨーロッパ
全土を震撼させた

異なる者や反教徒を
炙り出し駆逐する

大量虐殺時代



人が人を殺す

愚かな時代

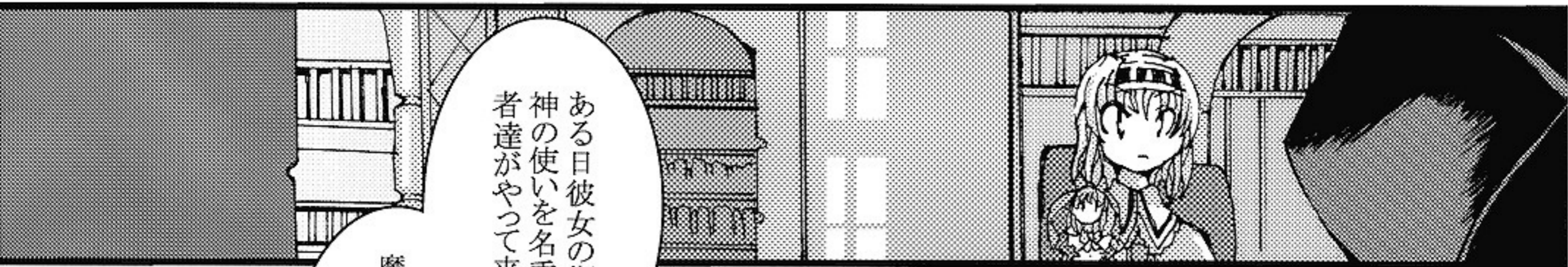


さぞ脅威に
感じたのでしょうかね



生まれながらにして
高い魔力を持つ
あの子の存在は

あの子の魔力は
先天性のものらしく



ある日彼女の街に
神の使いを名乗る
者達がやって来て

魔女狩りが実行された



彼女も抵抗虚しく
捕まってしまうのだけど

彼女を捕らえたのは
圧倒的な力でも
絶対神なる者の力でもなく



最愛の人の
裏切りによって

彼女は
捕らえられてしまっ





彼女はね

売られたの

誰よりも
心を許し

誰よりも
信愛した



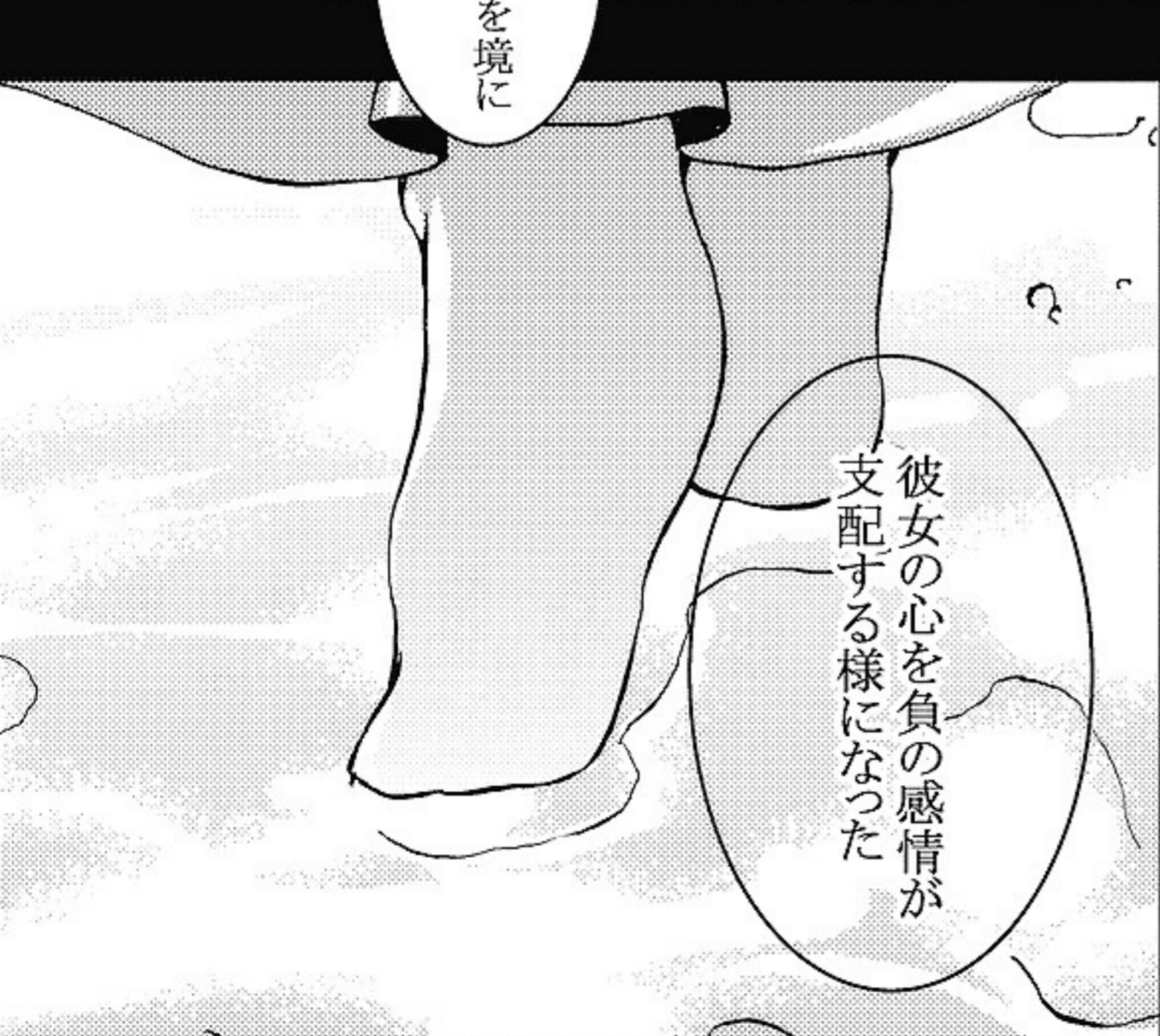
実の姉に



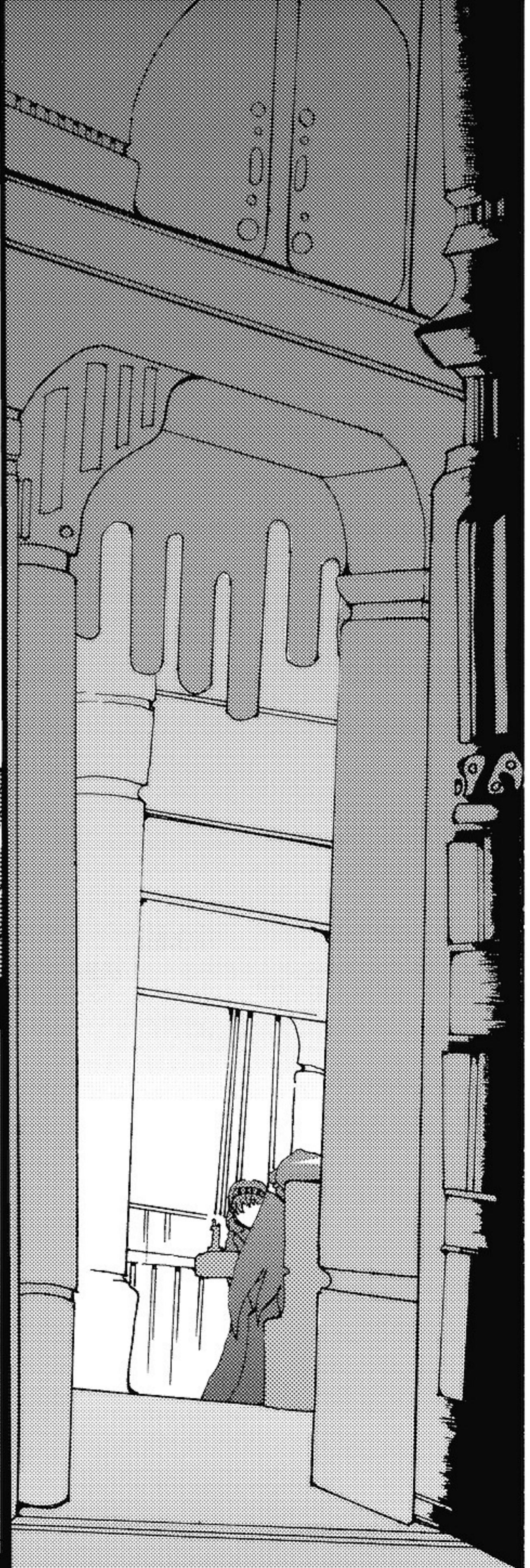
...

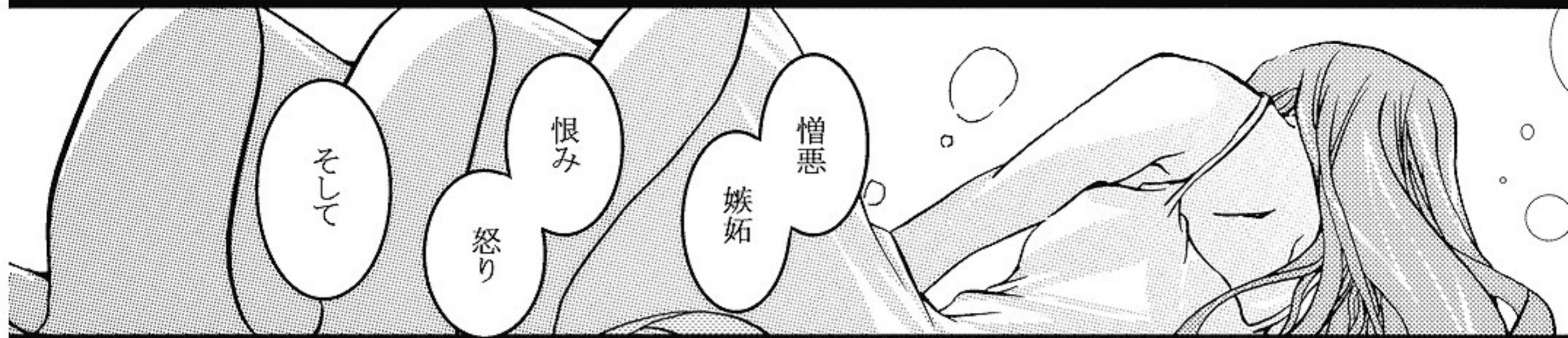


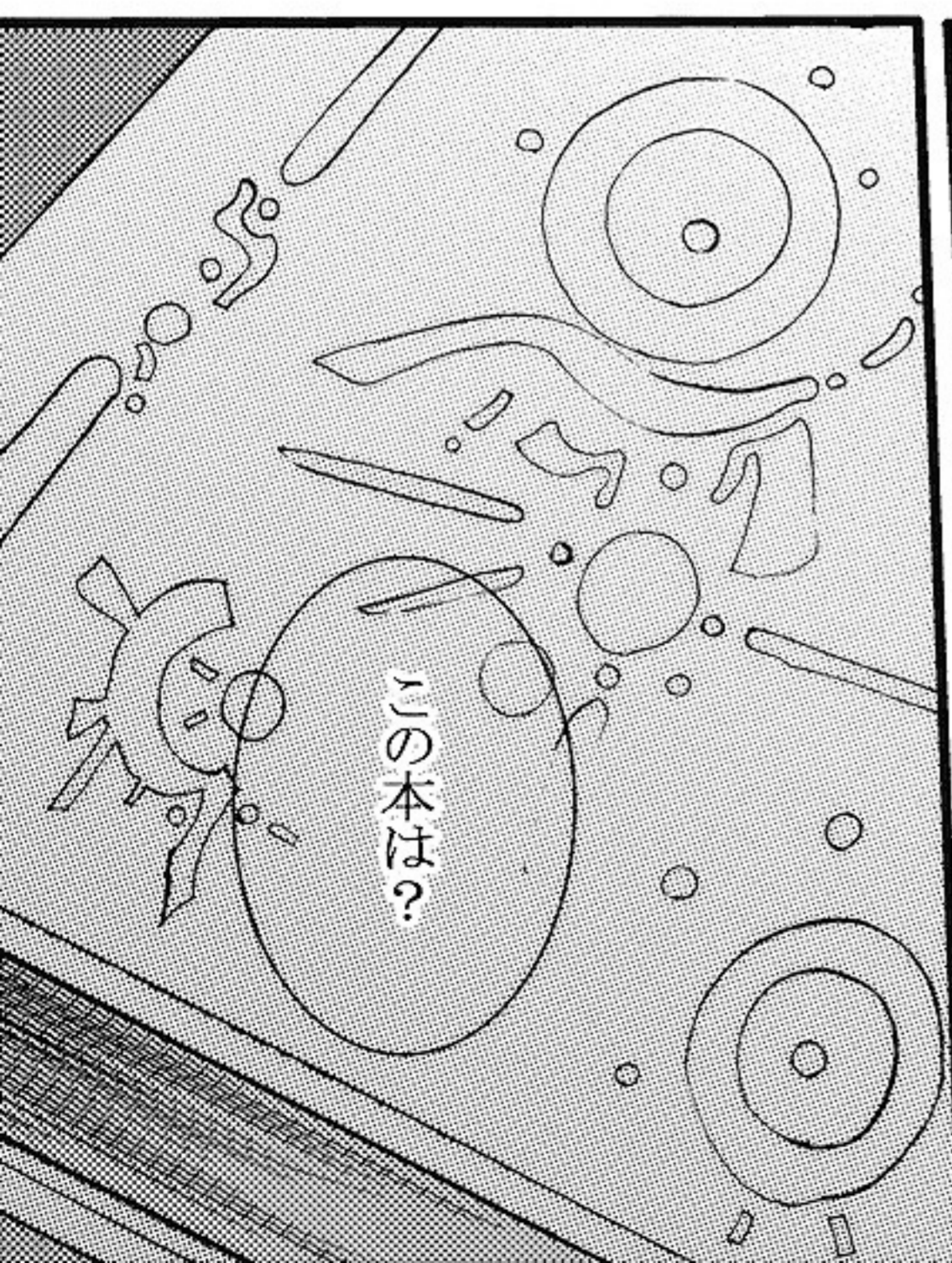
...その日を境に

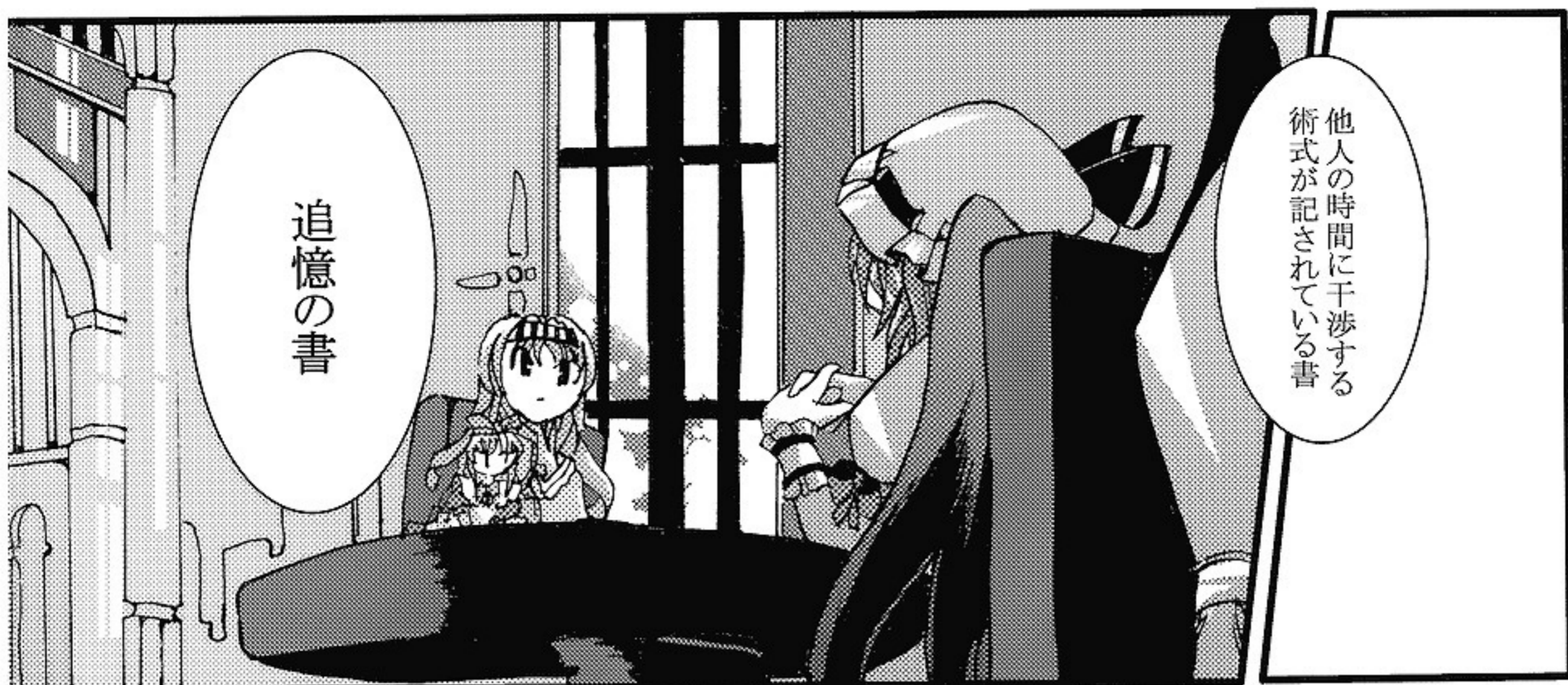


彼女の心を負の感情が
支配する様になった









追憶の書

他人の時間に干渉する
術式が記されている書



先に述べた様に
私は過去が視れる
そこに映された出来事が
嘘偽りの無い真実の姿
だと言う事も理解している



だけどね
過去を視ている内に
こう思ってしまったの

”これが本当に
真実の姿なのだろうか”と



彼女の心の

中枢へと
潜る事にした

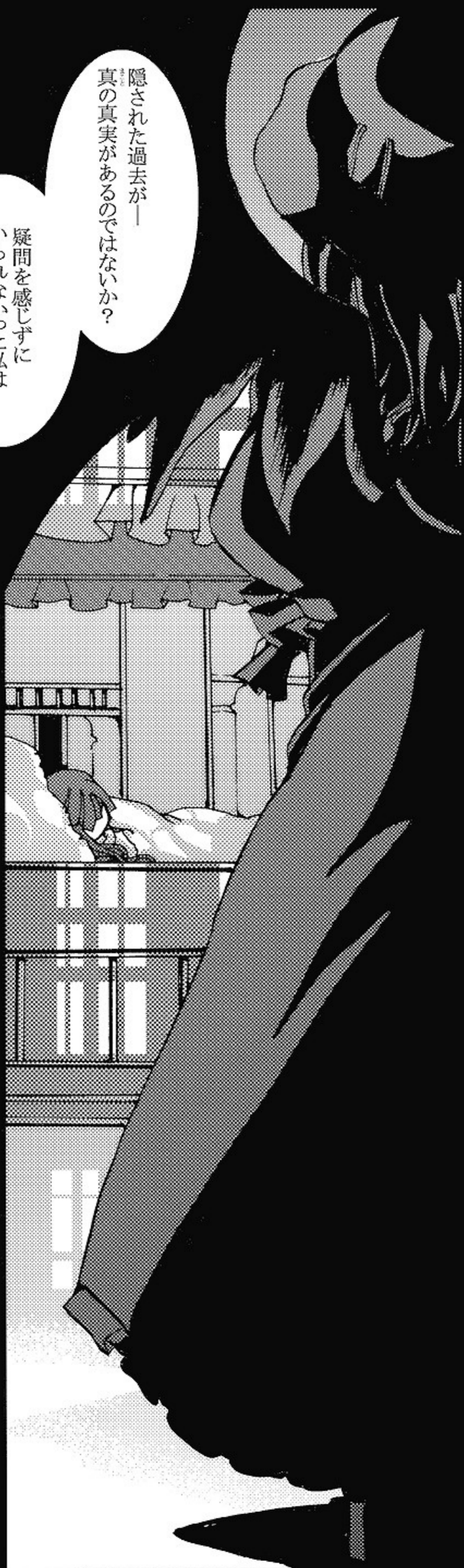
疑問を感じずに
いられなかった私は
この書の力を使い

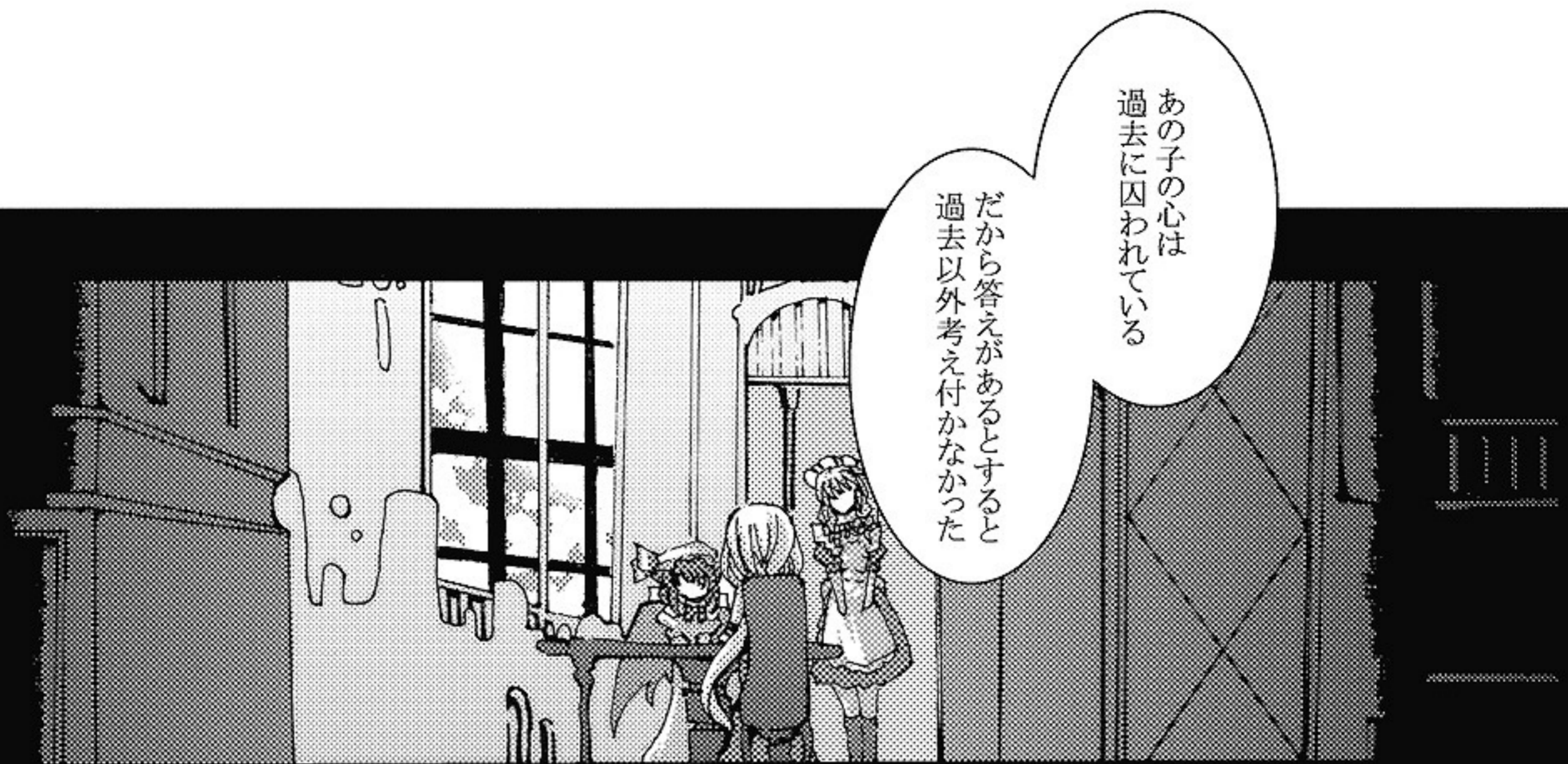
隠された過去が—
真の真実があるのではないか？



その先に彼女の
心の闇を払う術が

あるのではないかと
そう思い





あの子の心は
過去に囚われている

だから答えがあるとすると
過去以外考え付かなかった



あの子との距離を
作る羽目になってしまった

—結果は解らずじまい

それ所か

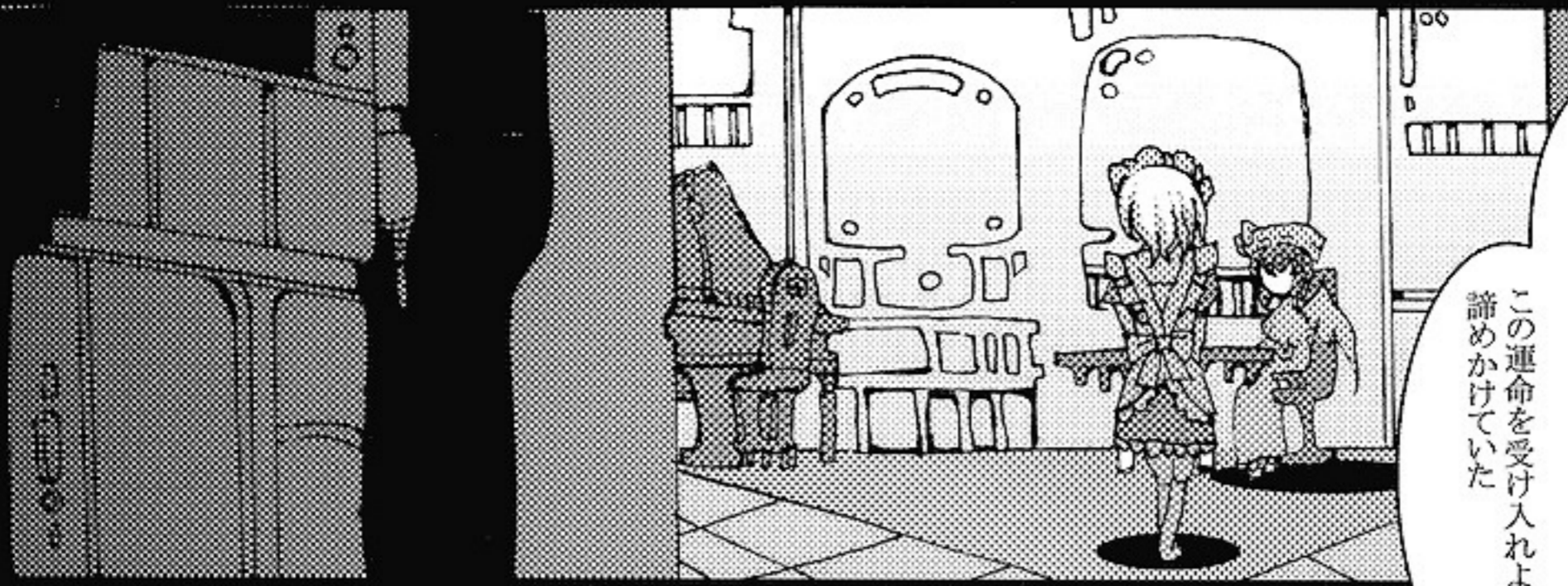


他にも
咲夜や美鈴…

魔理沙にも
手伝ってもらった
けれど



何一つ見つける事が
出来なかった



なす術が
無くなった私は

この運命を受け入れようと
諦めかけていた



そんな矢先
単身で紅魔館に向かって
来る者がいると耳に挟み

何処の命知らずが
乗り込んで来たかと思ひ
私はその者の心へ干渉を試み



知つてしまふ

そして

この者が歩んできた
悲しみの運命と過去を

—それが



あの事同じ過去を持つ
貴方ならば

誰も迎り着けなかった
真実の奥の真実に
迎り着けるはず



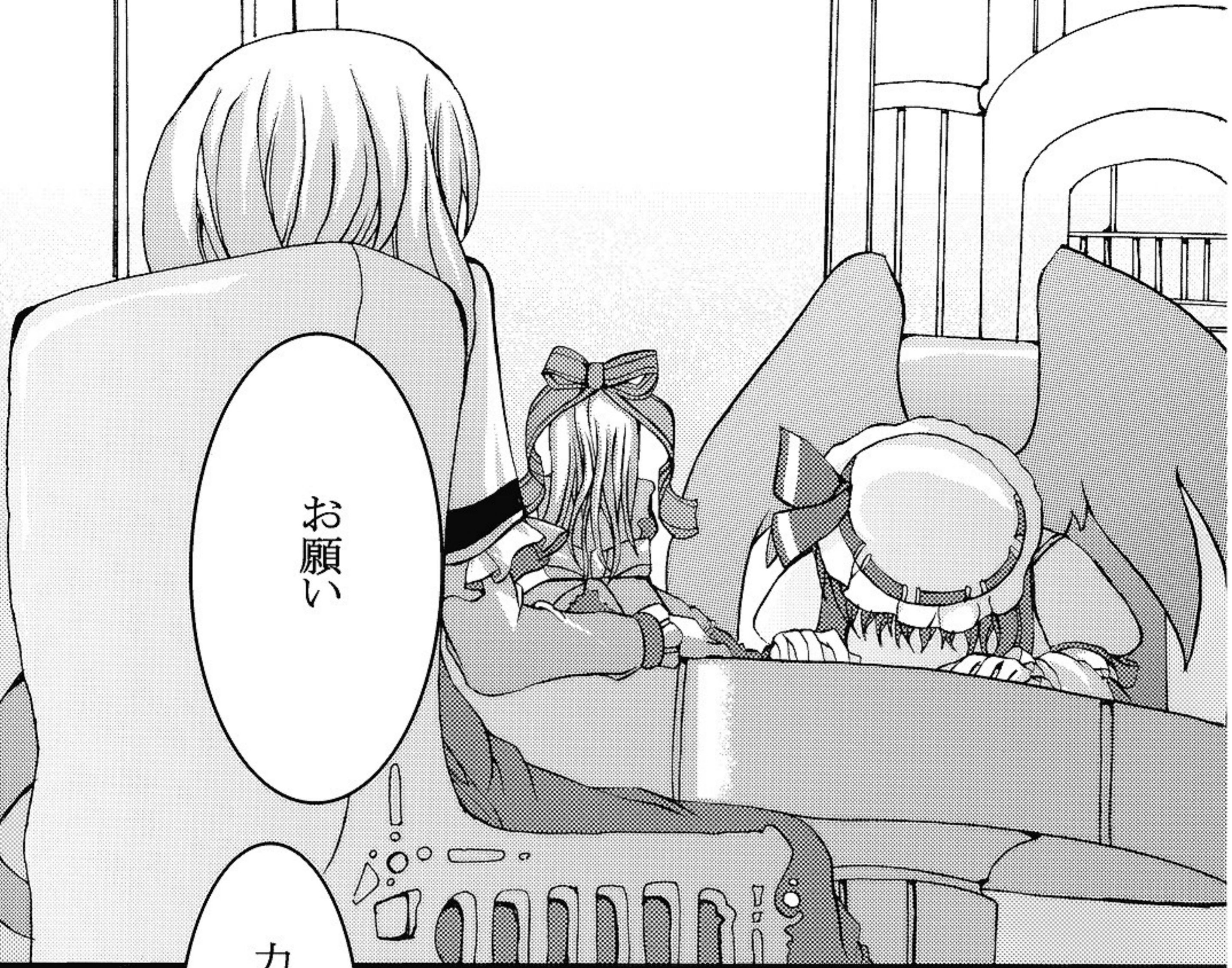
身勝手な話だという事は
重々承知しているわ

でも今の私には
貴方以外に頼るものが無いの



貴方よ

アリス・マーガトロイド



お願い

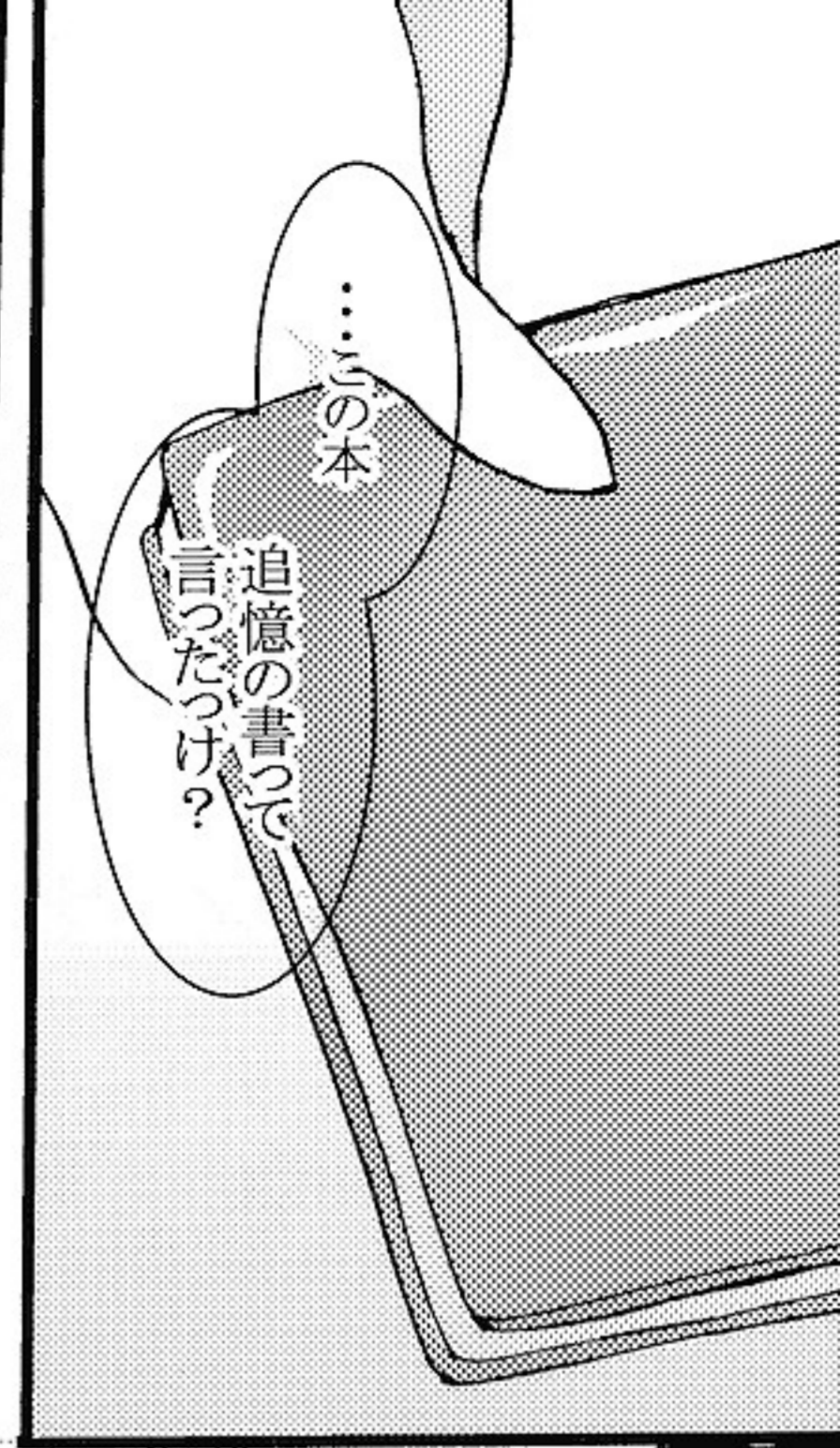


力を貸してっ





この本を使うと
他人の時間に干渉できるのよね？



…この本
追憶の書って
言っただけ？



教えてちょうだい

どうやって使うの？

Scene3 メモリー
-隠された記憶- 終

まって
人形遣いさん

これも
持って行って

これは？

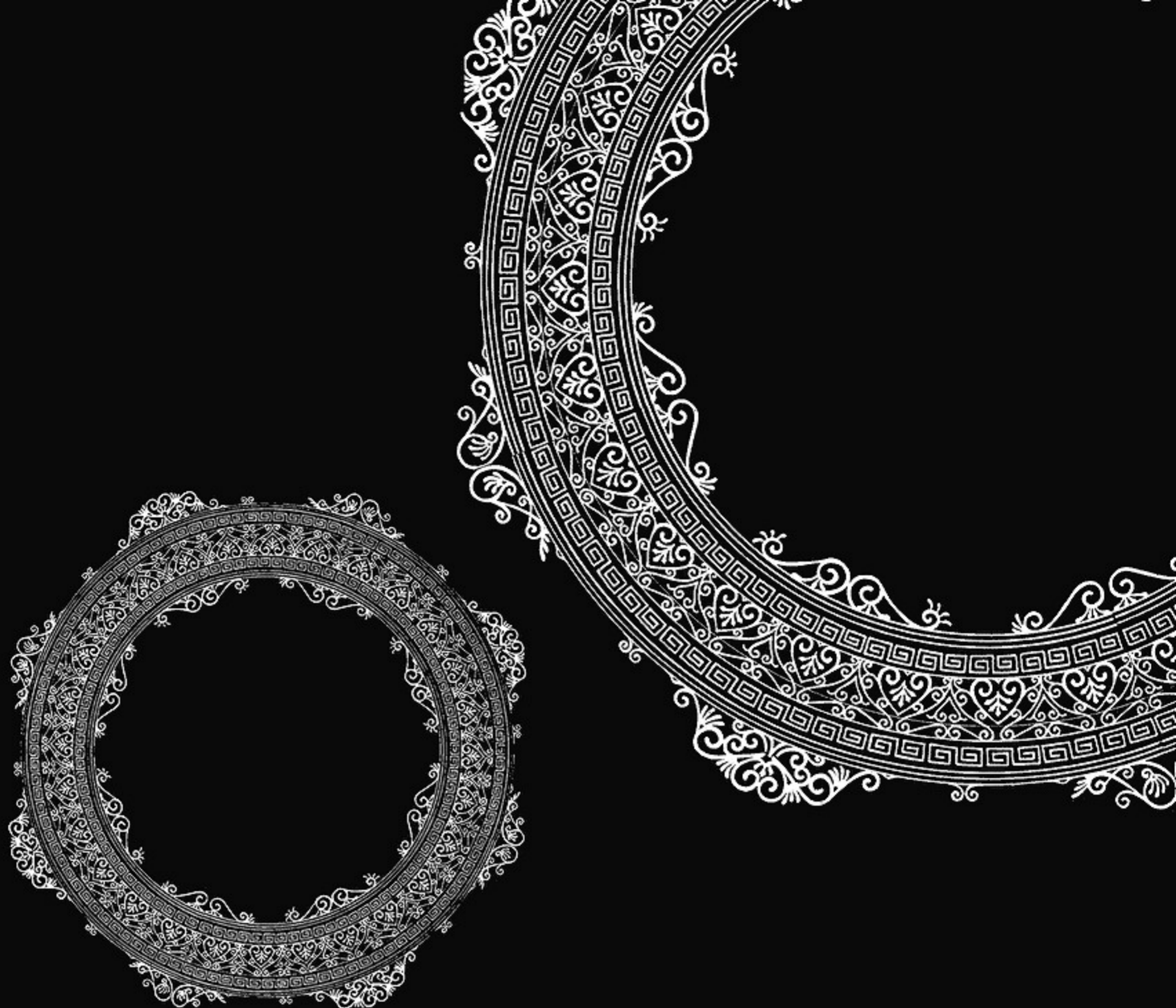
帰路の羽
深層世界から
出る為のアイテムよ

身の危険を感じたら
すぐ戻ってきてね？

わかったわ

私の時間と
彼女の時間を
繋ぎたまえ

ワールド
Dive
ダイブ



Scene4

- Locked Girl -

ラクトガール